

カメラをご利用になる前に	6-2
カメラ利用時のご注意	6-2
画像データの保存形式／保存場所	6-2
カメラモードと撮影画像について	6-3
カメラモードと画像サイズについて	6-3
撮影画面の見かた	6-4
静止画／動画の撮影	6-7
デジカメモードで撮影する	6-7
フォトモードで撮影する	6-9
ビデオカメラで撮影する	6-10
撮影時の機能	6-11
ピントを固定して撮影する (オートフォーカスロック)	6-11
タッチした被写体にピントと露出を合わせて撮影する (タッチシャッター)	6-11
動く被写体にピントと露出を合わせて撮影する (追尾AF)	6-12
ズーム機能を使用する	6-12
フラッシュを使用する	6-14
セルフタイマーを使用する	6-15
人数や表情に合わせて自動的に撮影する (オートシャッター)	6-15
場面に適した撮影モードに切り替える	6-16
ピントを合わせたい対象物を特定する (フォーカスマード)	6-17

カメラをご利用になる前に

本機は約13.2メガピクセルCMOSカメラ（オートフォーカス機能付き）を搭載し、静止画や動画の撮影ができます。

- ピクチャアルバム（☞P.10-26）を利用すると、撮影した静止画を多彩なエフェクトやスライドショーで楽しむことができます。

カメラ利用時のご注意

- レンズが指紋や油脂などで汚れているとピントが合わなくなります。汚れたら柔らかい布できれいになさってください。
- 本機が動かないようにしっかり持って撮影してください。動くとも画像が乱れる原因となります。薄暗い場所では特に乱れやすいのでご注意ください。
- 本機を暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- カメラ起動中はフラッシュが点灯／点滅します。点灯／点滅は消せません。

カメラ撮影時の撮影音について

- マナーモードなどの設定にかかわらず、撮影時は音（シャッター音やセルフタイマー音）が鳴ります。音量は変更できません。
- フォトモード／ビデオカメラでのシャッター音は変更できます。（☞P.18-16）

お知らせ

- 電池残量が不足していると、カメラは起動できません。
- カメラ起動中に着信やアラーム動作があったり、電池残量が不足したりするとカメラは終了します。撮影したデータを保存する前に終了した場合でもデータは保持されています。また、動画の場合はカメラ終了まで撮影していたデータが保持されています。再びカメラが起動したときにデータを保存してください。
- 起動後に約1分間何も操作しないとカメラは自動的に終了します。
- (📷) で起動／撮影する場合は、 (📷) をしっかりと押し込んでください。

画像データの保存形式／保存場所

撮影した静止画／動画はmicroSDカードに保存されます。

撮影画像	保存形式	保存場所
静止画	JPEG (.jpg)	microSDカードのDCIMフォルダ
動画	MPEG-4 (.3gp、.mp4) ／ASF (.asf)	microSDカードのSD_VIDEOフォルダ

- 本体に保存する場合は、保存先設定を切り替えてください。（☞P.18-15、P.18-16）
- メモリ容量を確認するには（☞P.18-16）

お知らせ

- 保存先を本体に設定しても、動画の記録画素数（☞P.18-14）をHDに設定したり、動画容量設定（☞P.18-15）を長時間に設定すると、自動的にmicroSDカードに保存されます。

カメラモードと撮影画像について

カメラモード	静止画	動画
デジカメモード	○	○
フォトモード	○	—
ビデオカメラ	—	○

画面の向きについて

- デジカメモードの場合は、横画面表示となります。
- フォトモード/ビデオカメラの場合は、本機を開くと縦画面表示、閉じると横画面表示を自動で切り替えます。ただし、起動中の機能によっては画面が切り替わらない場合があります。

カメラモードと画像サイズについて

カメラモード	撮影画像	アイコン	画像サイズ
デジカメモード	静止画/ 連続撮影		13M
			9.7Mワイド
			正方形(大)
			8M
			5M
			3M
	静止画/ 連続撮影/ 連写		2Mワイド
			2M
			待受
			VGA
	静止画/ 連続撮影		VGA
			正方形(小)

カメラモード	撮影画像	アイコン	画像サイズ		
デジカメモード	動画		HD*		
			VGA		
			HVGAワイド		
			QVGA		
			QCIF		
フォトモード	静止画		3M		
			2Mワイド		
			2M		
			待受		
		静止画/ 連写		VGA	
				QVGA	
			QCIF		
			Sub-QCIF		
	ビデオカメラ		動画		VGA
					HVGAワイド
				QVGA	
				QCIF	
		Sub-QCIF			
		Sub-QCIF			

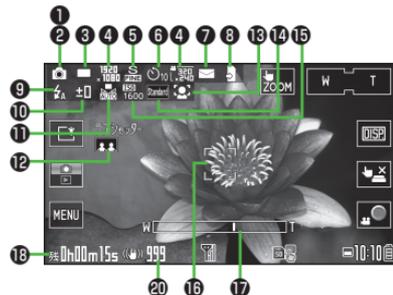
* スピードクラスに対応しているmicroSDカードが必要です。

撮影画面の見かた

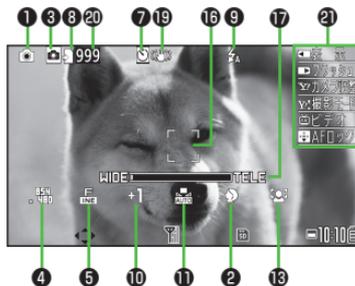
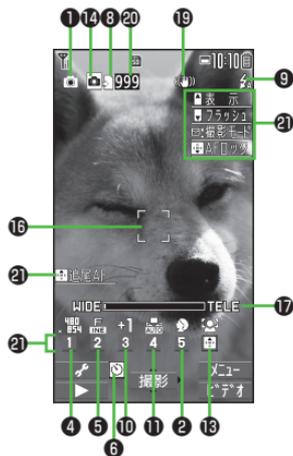
●画面は説明用のイメージのため、実際の画面とは異なります。

6 カメラ

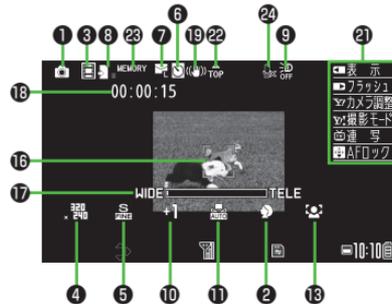
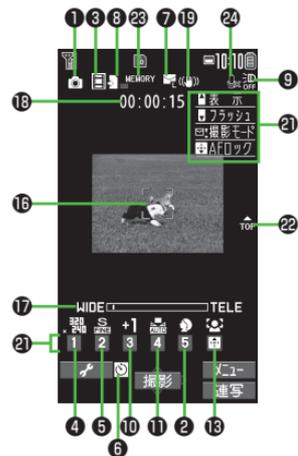
■ デジカメモード



■ フォトモード



■ ビデオカメラ



- 主にデジカメモードのアイコンを記載しています。カメラモードや設定によっては、表示されなかったり実際のアイコンと異なる場合があります。

項目	説明
① 撮影モード (☞P.6-16)	インテリジェントオート 通常撮影 シーン Myオリジナル (シーン/Myオリジナルの場合は、設定によってアイコンが変わります。)
② シーン	人物/ポートレート スポーツ 料理 風景 夜景 逆光 文字 雪 夕焼け ペット
③ カメラモード切替	デジカメモード フォトモード ビデオカメラ / デジカメモードの連写モード (連写/連続撮影) / フォトモードの連写モード (オート/マニュアル/オートブラケット)
④ 記録画素数	画像サイズを表示 (☞P.6-3)
⑤ クオリティ	スタンダード ファイン スーパーファイン
⑥ セルフタイマー	デジカメモード: 10秒 2秒 フォトモード/ビデオカメラ:
⑦ 動画容量	メール用 メールモード(小) メールモード(大) 長時間
⑧ 保存先	本体 microSD
⑨ フラッシュ	オート 強制発光 常時点灯 発光禁止
⑩ 暗部補正	ON OFF
露出補正	撮影画面の明るさを調節 (レベル-3~+3)
⑪ ホワイトバランス	オート 晴天 曇天 電球 蛍光灯
⑫ オートシャッター (☞P.6-15)	/ / ラブシャッター (お友達/恋人/恋人+笑顔) グループシャッター (設定した人数) 笑顔シャッター
⑬ フォーカスマード (☞P.6-17)	顔認識 AF オート マクロ 風景 追尾AF
⑭ カラーモード	標準 通常 セピア 白黒 ヴィヴィッド ナチュラル 美白 日焼け
⑮ インテリジェントISO (☞P.18-14)	~ 2000000 200オート~25600オート
⑯ フォーカスガイド	オートフォーカスガイド 追尾AFガイド

	項目	説明
17	ズームバー	ズームレベルを表示 (P.6-13)
18	録画可能時間	録画可能時間の目安
19	手ブレ補正	自動的に手ブレを補正
20	撮影可能枚数	残りの撮影可能枚数を表示
21	ボタンガイダンス	ボタン操作を表示
22	天地アイコン	撮影時の上下方向を表示
23	使用メモリ量バー	メモリ使用状況の目安を表示 (メモリがいっぱいのときは赤で表示)
24	撮影種別設定	映像のみを録画

フォトモード／ビデオカメラのボタンガイダンスについて

- 次の操作でそれぞれの設定の切り替えができます。
 - ・ 21で表示されている数字やマークのボタン (→ 21) で項目を選択
 - ・ [] (24) → 24 で設定を選択 → 24 で項目を選択

静止画／動画の撮影

インテリジェントオートについて

静止画撮影時に撮影シーンを自動で認識し、最適な設定でおまかせ撮影ができます。シーンを判別すると、アイコンがアニメーション表示されます（例：顔認識）。

- 顔認識について（☞P.6-17）
- インテリジェントオート以外の撮影モードを選択しても（☞P.6-17）、次回デジカメモードまたはフォトモードでカメラを起動すると、インテリジェントオートに戻ります。

デジカメモードで撮影する

デジカメモードで静止画または動画を撮影します。

- 保存した静止画や動画を確認するには（☞P.6-9）

静止画を撮影する

1 (A) /

静止画撮影画面が表示されます。

2 被写体を画面に表示 → (A) /

撮影するとシャッター音が鳴り、ポストビュー画面が約2秒間表示されます。

撮影した静止画は自動的に保存されます。

3 カメラを終了するには、

待受画面に戻ります。

■ 撮影画面でできること



静止画撮影画面（デジカメモード）

項目	説明
① ディスプレイ照明切替	ディスプレイの照明を明るくし、屋外などでもディスプレイを見やすくします。 ●もう一度タッチすると元の明るさに戻ります。
② カメラ／再生切替	ピクチャアルバムを起動して、撮影した静止画や動画を表示します。 ●そのままスライドショーなどの機能を利用できます。（☞P.10-30） ●もう一度タッチすると撮影画面に戻ります。
③ メニュー	機能メニューを表示します。
④ タッチズーム切替	タッチした箇所を拡大します。（☞P.6-14） ●もう一度タッチすると元の大きさに戻ります。
⑤ ズーム	ズームレベルを変更します。（☞P.6-13）
⑥ ディスプレイ表示切替	タッチするたびに、アイコンとガイドラインの表示を切り替えます。 ● <input type="checkbox"/> で切り替えることもできます。
⑦ タッチシャッター切替	タッチした箇所にピントを合わせて自動的に撮影します。（☞P.6-11）
⑧ 動画撮影	動画撮影を開始します。（☞P.6-9）

お知らせ

- **タッチメニューからカメラ▶デジカメモード**でも起動できます。
- 画面ロック中は、本機を閉じたまま  を長押ししても、カメラを起動できます。
- 撮影モードが**インテリジェントオート**以外の場合は、ガイドラインのパターンの変更ができます。(P.18-15)

ポストビュー画面（オートレビュー）について

デジカメモードで撮影すると、ポストビュー画面が表示され、撮影した静止画を確認できます。

- ポストビュー画面を表示しないようにしたり、表示時間を変えることもできます。(自動保存 P.18-15)
- 自動保存を**OFF**に設定すると、ポストビュー画面が表示されたままになります。その場合、保存するには**[保存]**をタッチします。保存せずに撮影画面に戻るには、**[キャンセル]**をタッチします。

連写撮影する

静止画を連続して撮影できます。

- 連写の撮影枚数は、画像サイズによって以下のように変わります。
 - ・ 3M(2048×1536)：6枚
 - ・ 2Mワイド(1920×1080)：8枚
 - ・ 2M(1600×1200)：8枚
 - ・ 待受(854×480)：8枚
- 連続撮影では、 または  を押している間、撮影し続けます。

1 デジカメモードの撮影画面で、[MENU]→連写**2 連写の場合**

連写→被写体を画面に表示→ () / 

連続撮影を開始します。

確認のためのポストビュー画面が表示されます。

連続撮影の場合

連続撮影→被写体を画面に表示→ () /  を押し続ける

 () /  を離すと撮影を終了し、撮影した静止画は自動的に保存されます。(手順3の操作は不要です。)

3 1枚ずつ保存する場合

静止画をタッチ→**[保存]**

タッチした静止画は拡大表示され、もう一度タッチするとポストビュー画面に戻ります。拡大表示中に左右にスライドすると、前後の静止画が表示されます。

全て保存する場合

[全保存]

- 保存せずに連写の撮影画面に戻るには：**[戻る]**

動画を撮影する

- 撮影した動画をmicroSDカードに保存した場合は、ピクチャアルバムでのみ再生できます。
- HD(1280×720)の動画を撮影する場合は、スピードクラスに対応しているmicroSDカードが必要です。

1 /

静止画撮影画面が表示されます。

2 被写体を画面に表示 →

撮影開始音が鳴り、録画を開始します。

3 撮影を終了するには、

撮影停止音が鳴ります。

撮影した動画は自動的に保存されます。

- 記録可能時間を超えると、撮影は自動的に終了します。

撮影した静止画／動画を確認する

撮影した静止画や動画をピクチャアルバムで表示します。

1 デジカメモードの撮影画面で、

ピクチャアルバムが起動し、最新の静止画または動画が表示されます。

- 以降の操作について (P.10-27)

フォトモードで撮影する

フォトモードで静止画を撮影します。また、連写モードで最大20枚の静止画を連続して撮影できます。

- 保存した静止画を確認するには (P.10-4、P.10-26)

静止画を撮影する

メインメニューから カメラ

1 フォトモード

静止画撮影画面が表示されます。

2 被写体を画面に表示 →

 [撮影] /  / 

撮影するとシャッター音が鳴ります。
撮影した静止画は自動的に保存されます。

- 撮影した静止画をすぐに確認するには： [確認] →撮影画面に戻るには、

3 カメラを終了するには、

待受画面に戻ります。



静止画撮影画面
(フォトモード)

お知らせ

- 撮影画面でを押すたびに、ビデオカメラ、連写モード、フォトモードの順にカメラモードを切り替えられます。
- 自動保存設定 (P.18-15) を**OFF**にすると、フォトモードで撮影した静止画を確認してから保存できます。

連写撮影する

- 1 フォトモードの撮影画面で、**[メニュー]**→**カメラモード切替**→**連写モード**
- 2 被写体を画面に表示→**[撮影]**/**[0]**/**[OK]**
撮影したすべての静止画は自動的に保存されます。

■ 連写撮影の設定を変更する

- > 上記手順1のあと、**[メニュー]**→**連写設定**→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
連写モード設定	> 項目を選択 ・ オート ：複数の静止画を自動で撮影します。 ・ マニュアル ：1枚ずつ手で撮影します。 ・ オートブラケット ：1枚ずつ明るさや色調を変えて9枚の静止画を自動で撮影します。
撮影間隔	連写モード設定が オート 時の撮影間隔を設定します。 > 撮影間隔を選択
撮影枚数*	連写モード設定が オート / マニュアル 時の撮影枚数を設定します。 > 撮影枚数を入力

- ※ 撮影枚数は画像サイズによって以下のように変わります。
 ・ VGA(480×640)：4枚（撮影枚数の変更はできません。）
 ・ QVGA(240×320)：5～10枚
 ・ QCIF(144×176)：5～20枚
 ・ Sub-QCIF(96×128)：5～20枚

ビデオカメラで撮影する

ビデオカメラで動画の撮影をします。

- 保存した動画を確認するには（P.10-14）

メインメニューから カメラ

- 1 **ビデオカメラ**
動画撮影画面が表示されます。
- 2 被写体を画面に表示→
[撮影]/**[0]**/**[OK]**
撮影開始音が鳴り、「●REC」が表示されます。
- 3 撮影を終了するには、
[終了]/**[0]**/**[OK]**
撮影停止音が鳴ります。
撮影した動画は自動的に保存されます。
●記録可能時間を超えると、撮影は自動的に終了します。
- 4 ビデオカメラを終了するには、**[戻る]**
待受画面に戻ります。



動画撮影画面
(ビデオカメラ)

お知らせ

- 撮影画面で**[戻る]**を押すたびに、連写モード、フォトモード、ビデオカメラの順にカメラモードを切り替えられます。
- 自動保存設定（P.18-16）を**OFF**にすると、撮影した動画を確認してから保存できます。

撮影時の機能

- カメラモードに関わらず可能な機能については、主にデジカメモードの操作を記載しています。フォトモード／連写モード／ビデオカメラでは実際の画面表示や操作と異なることがあります。

ピントを固定して撮影する (オートフォーカスロック)

画面中央の被写体（「顔認識」の場合は人物の顔）にピントを合わせて固定します。

固定したあとに構図を変えることもできます。

- 1 撮影画面で、 (半押し) / 
ピントが合うと「ピピッ」と鳴り、フォーカスガイドが緑色に変わります。
 - ピントが合わなかった場合はフォーカスガイドが赤色になります。
 - デジカメモード以外の場合は、 でピントを固定することもできます。
 -  で固定したピントを解除するには： から指を離す
 -  /  で固定したピントを解除するには：
- 2 画面を見ながら構図を決める
- 3 各カメラモードに従って撮影する
 - 手順1で (半押し) でピントを固定した場合、そのまま を深く押しと、撮影できます。

タッチした被写体にピントと露出を合わせて撮影する (タッチシャッター)

デジカメモードでタッチした被写体にピントと露出を合わせて、自動的に撮影します。

- 1 デジカメモードの撮影画面で、 タッチシャッターが有効になります。（もう一度押しと無効になります。）
- 2 被写体にタッチ
ピントと露出を合わせて自動的に撮影します。
撮影した静止画は自動的に保存されます。

動く被写体にピントと露出を合わせて撮影する (追尾AF)

被写体に追尾AFガイドを合わせると、被写体の動きを追いかけ
てピントと露出を合わせ続ける追尾状態になります。追尾状態
で被写体の位置にピントと露出を固定して撮影できます。

お知らせ

- 被写体が撮影画面の外に出たときなど、被写体を追尾できなくな
った場合は、追尾状態が解除されます。
- 撮影状況によっては、被写体を追尾できない場合や他の被写体を
追尾する場合があります。
- オートシャッター利用中や撮影サイズによっては利用できませ
ん。

1 撮影画面で、被写体をタッチ

追尾AFガイドが表示さ
れ、被写体を認識する
と黄色に変わって追尾
状態になります。

- 追尾状態を解除する
には：[CLR]



2 撮影するには、□(AF) / ○

フォトモードで追尾AF撮影をするには

- 撮影モードがインテリジェントオートの場合：○で追尾AFガイ
ドを表示→被写体に追尾AFガイドを合わせて、○→○[撮影]
/○/□(AF)
- 撮影モードがインテリジェントオート以外の場合：フォーカス
モード(→P.6-17)を追尾AFにする→被写体に追尾AFガイ
ドを合わせて、○→○[撮影]/○/□(AF)
- 追尾状態を解除するには：○/○(OFF)

ズーム機能を使用する

- 広角／望遠にすると画質は多少変化することがあります。
- サイズによっては画質劣化の少ない超解像技術を用いたデジタル
ズームが利用できます。(デジタルズーム中は、ズームバーの色が
異なります。)

1 撮影画面で、[W] / [T]をタッチまたはスピード セクターを回転

- デジカメモード以外の場合：○またはスピードセクターを
回転

■ 各画像サイズにおけるズームの最大倍率

カメラモード	撮影画像	画像サイズ	ズーム段階	最大倍率
デジカメ	静止画	13M	21段階	約2.0倍
		9.7Mワイド	21段階	約2.0倍
		正方形(大)	21段階	約2.0倍
		8M	21段階	約3.0倍
		5M	21段階	約3.0倍
		3M	21段階 (37段階) ※1	約6.0倍 (約10.0倍) ※1
		2Mワイド	21段階 (37段階) ※1	約6.0倍 (約10.0倍) ※1
		2M	21段階 (37段階) ※1	約6.0倍 (約10.0倍) ※1
		待受	21段階 (37段階) ※1	約6.0倍 (約10.0倍) ※1
		VGA	21段階 (37段階) ※1	約6.0倍 (約10.0倍) ※1
		正方形(小)	21段階 (37段階) ※1	約6.0倍 (約10.0倍) ※1
		デジカメ	連写	3M
2Mワイド	21段階			約3.0倍
2M	21段階			約3.0倍
待受	21段階			約3.0倍
動画	VGA			21段階
HVGAワイド	21段階		約1.5倍	
QVGA	21段階		約3.0倍	
QCIF	21段階		約4.9倍	

カメラモード	撮影画像	画像サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォト	静止画	3M	21段階	約3.0倍
		2Mワイド	21段階	約3.0倍
		2M	21段階	約3.0倍
		待受	21段階	約3.0倍
		VGA	21段階	約3.0倍
		QVGA	21段階	約6.0倍
		QCIF	21段階	約10.8倍
		Sub-QCIF	21段階	約16.3倍
		連写	VGA	21段階
	QVGA	21段階	約6.5倍	
	QCIF	21段階	約10.8倍	
	Sub-QCIF	21段階	約16.3倍	
	ビデオカメラ	動画	VGA	21段階
HVGAワイド			21段階	約1.6倍
QVGA			21段階	約2.3倍 (約3.1倍) ※2
QCIF			21段階	約4.3倍 (約5.2倍) ※2
Sub-QCIF			21段階	約5.8倍 (約7.8倍) ※2

※1 インテリジェントオート設定時のみ

※2 本機を閉じた状態

タッチズームで撮影する

デジカメモードでズームしたい箇所をタッチして撮影すると、ズーム前後の画像2枚を同時に保存します。

- 1 デジカメモードの撮影画面で、
 - が表示されていない場合：[MENU]→ズームモード→タッチズーム→
- 2 →ズームしたい場所をタッチ
 - もう一度  または画面をタッチすると、元に戻ります。
- 3 撮影するには、

オートサイズズームで撮影する

デジカメモードでフォーカスロック時に認識している顔や追尾している被写体をズームします。撮影すると、ズーム前後の画像2枚を同時に保存します。

- 1 デジカメモードの撮影画面で、[MENU]→ズームモード→オートサイズズーム
- 2 オートフォーカスロックで撮影（ P.6-11）
ピン트가合うと、ズームします。オートフォーカスロックを解除すると、元に戻ります。

お知らせ

- 連写撮影時は、タッチズームやオートサイズズームは利用できません。

フラッシュを使用する

《お買い上げ時》

デジカメモード：iオート

フォトモード：オート

ビデオカメラ：OFF

暗い場所などで撮影するとき、フラッシュを点灯させるかどうかを設定します。

- 1 撮影画面で、[MENU]→フラッシュ
- 2 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
iオート／オート	撮影する場面に応じて自動的にフラッシュが光ります。
強制発光	撮影の瞬間にフラッシュが強制的に光ります。
常時点灯	撮影用ライトとして低輝度で点灯します。
発光禁止	撮影するときフラッシュは光りません。

- カメラモードや撮影モードによっては選択できないものもあります。

お知らせ

- 電池残量が不足しているときは、**発光禁止**に設定されます。
- **発光禁止**以外に設定中にカメラを終了した場合、次回カメラ起動時は、**iオート／オート**に設定されます。**発光禁止**に設定していた場合は、設定は保持されます。
- **発光禁止**に設定していても、カメラ起動中や撮影時はフラッシュが点滅します。
- フラッシュ使用時の適正撮影距離は約100～200cmです。
- 近くで撮影したりフラッシュ付近を持って撮影すると、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

セルフタイマーを使用する

1 撮影画面で、[MENU]→セルフタイマー→

10秒/2秒

- デジカメモード以外の場合：[メニュー]→セルフタイマー→ON→作動時間（秒）を入力

2 (M) /

セルフタイマー音が鳴り、設定している作動時間経過後に撮影が始まります。

- タイマー動作中に[中止]またはを押すと撮影画面に戻ります。タイマーは解除されません。

お知らせ

- 連写モード設定が**マニュアル**の場合はセルフタイマーで撮影できません。
- 撮影が終了すると、セルフタイマーは**OFF**になります。

人数や表情に合わせて自動的に撮影する (オートシャッター)

デジカメモードの撮影モードが**インテリジェントオート**または**フォーカスモードが顔認識**の場合、認識した顔の人数や距離を判別して自動で撮影します。

1 デジカメモードの撮影画面で、[MENU]→

オートシャッター→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
OFF	オートシャッターの設定を解除します。
ラブシャッター	2人までの顔を検出し、顔の距離が接近したときに自動で撮影します。 > お友達/恋人/恋人+笑顔 ● 恋人 に設定した場合、 お友達 に設定した場合より距離が近くなります。
グループシャッター	1～5人までの顔を検出します。設定した人数以上の顔を検出するとセルフタイマーが作動し、約3秒後に撮影します。 > 人数を選択
笑顔シャッター	検出した顔が笑顔になったときに撮影します。複数の顔を検出した場合、黄色のフォーカス枠で表示されている人の顔が笑顔になったときに撮影します。

お知らせ

- オートシャッター設定中でも、 (M) /  で撮影できます。
- 撮影が終了すると、オートシャッターは**OFF**になります。

場面に適した撮影モードに切り替える

《お買い上げ時》

デジカメモード／フォトモード：インテリジェントオート
連写モード／ビデオカメラ：通常撮影

1 撮影画面で、[MENU]→撮影モード

2 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
インテリジェントオート*	撮影シーンを自動で認識し、最適な設定でおまかせ撮影ができます。シーンを判別すると、アイコンがアニメーション表示されます（例：  顔認識）。 ●オートフォーカスロックを行ったあとは撮影モードは切り替わりません。インテリジェントオートを利用するには、オートフォーカスロックを解除してください。
通常撮影	標準のモードで撮影します。
シーン	撮影する場面や環境を選択することで、画像に適した明るさや色調に調節します。 > 項目を選択
Myオリジナル*	Myオリジナル設定として登録した設定で撮影します。 > 設定を選択（→デジカメモードの場合、 この設定で撮影 ） ●Myオリジナル設定を登録するには（  右記）

※ 静止画撮影時のみ

お知らせ

●デジカメモード以外の場合は、 []（長押し）→で項目を選択して切り替えることもできます。

Myオリジナル設定を登録する

お好みの撮影設定を、デジカメモード、フォトモード、連写モードでそれぞれ3件まで登録できます。

■ デジカメモードで登録する

> [MENU]→撮影モード→Myオリジナル→設定を選択→
現在の設定を保存→YES→OK

■ フォトモード／連写モードで登録する

>  []（長押し）→Myオリジナル設定→
各項目の操作を行う（下記参照）

項目	操作・補足
設定を保存する	> 設定を選んで  [保存]（→確認画面が表示された場合、YES）→タイトルを編集
保存した設定を呼び出す	> 設定を選択
保存した設定のタイトルを編集する	> 設定を選んで  [編集]→タイトルを編集
保存した設定の詳細を確認する	> 設定を選んで  [詳細]
保存した設定を削除する	> 設定を選んで  [削除]→YES

ピントを合わせたい対象物を特定する (フォーカスモード)

【お買い上げ時】
デジカメモード／フォトモード／ビデオカメラ：顔認識
連写モード：オート

撮影モードがインテリジェントオート以外の場合は、撮影シーンに合わせてフォーカスモードが選べます。

設定に応じて撮影前に自動的にピントを合わせます。

1 撮影画面で、[MENU]→フォーカスモード

- デジカメモード以外の場合：[メニュー]→撮影設定→フォーカスモード

2 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
顔認識	人物の顔にピントを合わせます。
オート	自動的にピントを合わせます。
マクロ	近くの物にピントを合わせます。
風景	遠い風景にピントを合わせます。
追尾AF	被写体を自動で追尾し、ピントを合わせます。 ●追尾AFで撮影するには（  P.6-12）

- カメラモードによっては選択できないものもあります。

お知らせ

- 約10cm以上の距離でピントが合いません。
- フォーカス動作中はカメラ部から動作音が発生します。以下の場合はピントを自動的に合わせるため、フォーカス動作音が断続的に発生します。
 - ・フォーカスモードが**追尾AF**の場合
 - ・撮影モードが**インテリジェントオート**の場合

「顔認識」について

- 約1.7m以内の人物の顔を最大5人まで検出できます。
- 人物の顔を検出すると黄色のフォーカスガイドを表示します。
- 顔を複数検出した場合は、自動的に1人の顔にピントを合わせます。（ピントの合った顔のフォーカスガイドが黄色になります。）
- 顔が以下の条件のときは検出できない場合があります。
 - ・横や斜めを向いたり、傾いたりしている
 - ・眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
 - ・画面全体に対して顔が極端に小さい、大きい、暗い
 - ・画面の端に顔がある
 - ・被写体や本機の動きが速い
- 検出に失敗した場合は、オートフォーカスで撮影されます。

6

カメラ